

## 問題 1

### 出題の意図

人口減少の問題は、現在の日本における重要な課題であるにもかかわらず、その要因は複層的であり、有効な解決策が見いだせないまま、その主因である少子化と高齢化が同時に進展している。本設題は、こうした日本の現状について、その実態と論理的思考力を試す意図で出題されたものである。

問 1 では、筆者が考える問題の要因の背景を記載内容より論理的に推測できるかどうかを問うている。問 2 は、本文の記載内容を正確に読み取れるかどうかを問うている。問 3 では、人口減少の進展の社会に対する影響に関して、医療や介護の仕組み、年金制度などよくいわれる論点以外に興味を持ち、それに関する論理的な思考力を問う問題である。

## 問題 2

### ○出題の意図

問題文は、ユネスコの機関誌「*Courier*」に掲載された、ユネスコ事務局次長による論説から引用しています。近年進展の激しいデジタル技術を教育の場面に導入することに関して、現況を概観したうえでユネスコの立場について説明する内容です。難しい言い回しも少なく理解しやすい英文ですが、一部の用語については高校生には若干馴染みが薄い可能性があるため、注で対応しています。

問 1 は、英文の読解力および英文和訳の能力を測る問題です。問題文全体を読んだうえで、問が求める「デジタル技術が教育にもたらすメリット」が第 2 パラグラフに記載されていることが分かれば、さほど苦勞せず答えられるのではないかと思います。解答において、要点が過不足なくカバーできているかどうか採点のポイントとなります。

問 2 は、受験生に近年話題の生成 AI について自分の考えを自由に書いてもらう問題です。ここでの評価のポイントは、①教育での生成 AI 利用に関する自分の見解（賛成なのか反対なのか）が明確に提示されているか、そして②その理由付けが論理的に、かつ適切な日本語の文章で表現できているかどうかです。問題文のなかで触れられている論点などをヒントとして使うことは差し支えありませんが、基本的には自由に考え、自分の考えを適切に述べてもらう問題です。